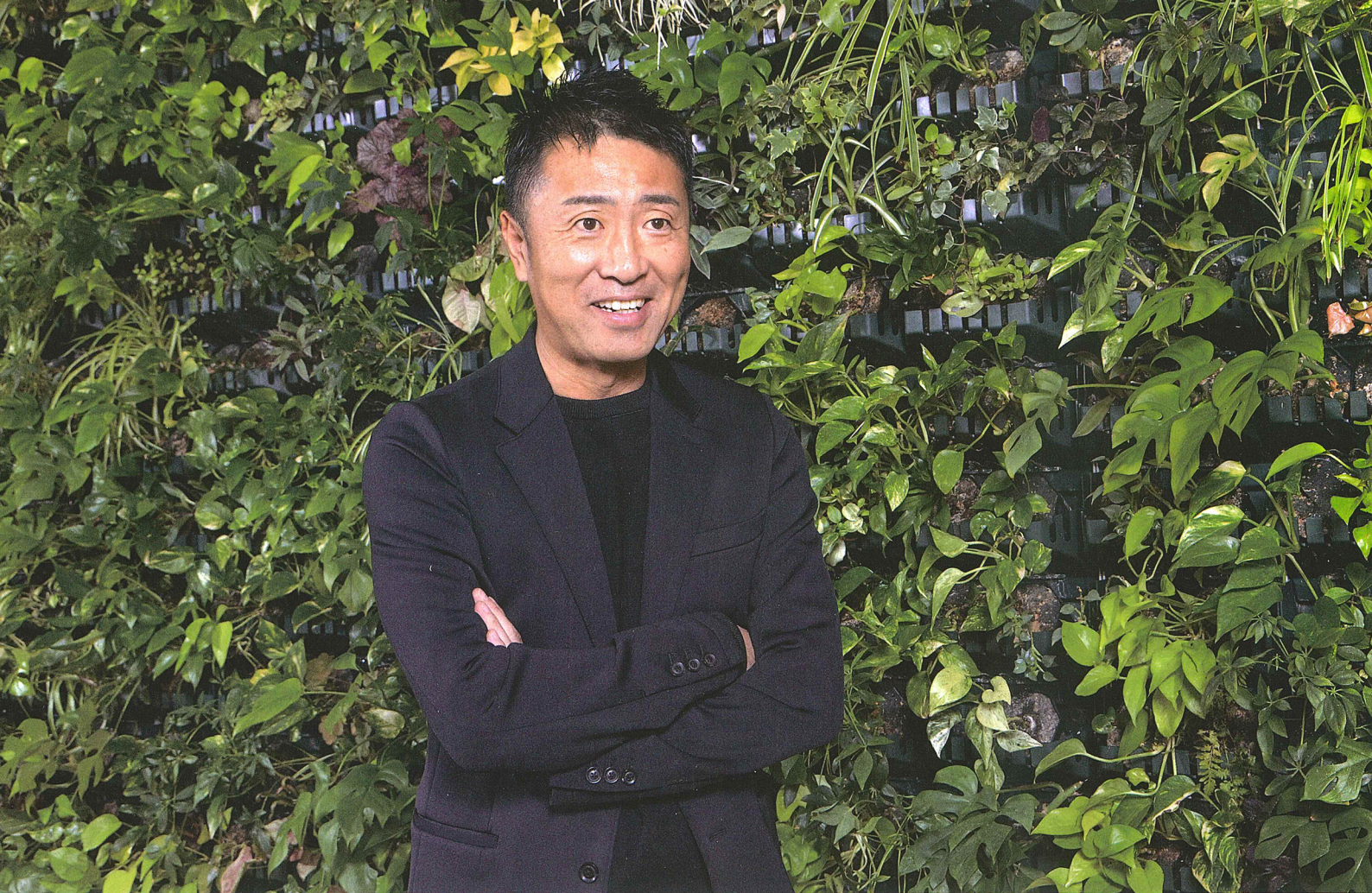




コモディティを抜け ニッチトップ市場で戦う

決意
2024年の
IGNITION 点火

森 忠裕氏

ヤブシタホールディングス社長

(もり・ただひろ) 1970年乙部町出身。93年三菱電機グループに入社。99年に同社に入社。営業職や現場管理、常務を経て08年から現職。

08年にかじ取りを任せられ業績をV字回復。いまや室外機の防雪フードや防音システムなど冷熱関連部材で全国トップシェアだ。商社から施工もできるメーカーへと脱却を図った。開発に気流や騒音の解析ソフトを導入し短納期化したほか、施工性も重視した設計が支持。60周年となる24年3月期のグループ年商は過去最高の67億円を見込む。

ものづくりをベースとした経営の多角化も進める。24年からは製作のノウハウを生かし、核シエルト事業にも本格的に参入。和モダンデザインの家具やスウィーツも販売して、海外の市場も狙う。

「並行してAIにも投資しています。今までのビジネスモデルは全く通用しなくなる。常に新しい分野に挑戦し、若い社員のマインドを鍛えることで、イノベーションを起こす。他社より先にコモディティ化から抜け出し、ニッチトップ市場で勝ち続けていく」